

詰連珠ドリル

【入門編①】

サンプル

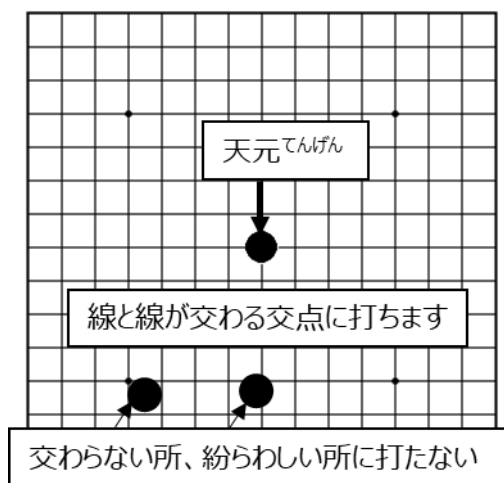
出題：河村典彦九段

2023年9月1日発行

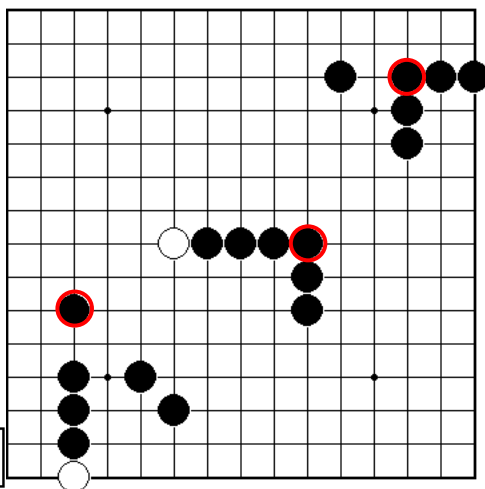
【連珠のルール】

- 連珠盤（15×15）を使います
- 黒石と白石を使います
- 黒が先手、白が後手で交互に打ちます
- 黒は最初に中央の「天元」に打ちます
- 縦、横、斜めのいずれかに早く「五連」を並べた方が勝ちです
- 黒にのみ、三々、四々、長連の禁手があります
- 黒が勝つには四三を作る必要があります

【連珠盤】



【四三の例】

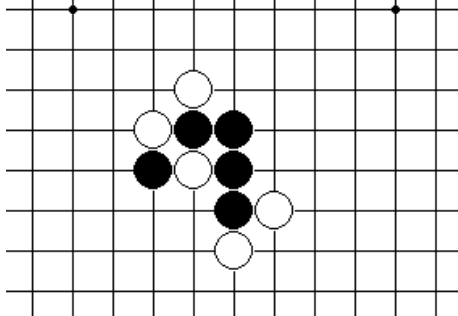


詰連珠ドリル、入門編を作成しました。基本的には1手で四三を作ったり、禁手を打たせたりする問題にしていますので、慣れた方だとスイスイ解いていけるでしょう。しかし、いろいろな罫もしかけています。ぜひ、その罫をかいくぐって、正解を導いてください。

黒先問題を70問、白先問題を30問合計100問ご用意しました。各問題にヒント、解答にはちょっとした解説をつけていますので、初心者の方もこれを読んで基本の勝ち方をマスターしてください。実戦では、四や三を見落とさない、勝ちがある時にしっかり勝つ、ということだけを注意すれば、一桁の級にはすぐ到達します。勝ちがある時にしっかり勝つために、このドリルを活用していただければと思っています。

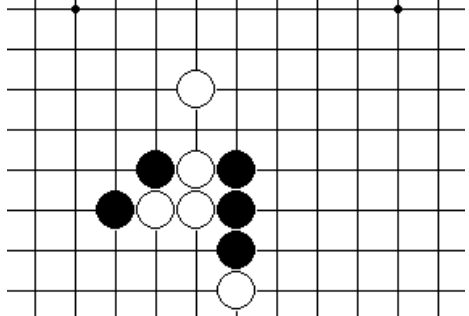
では、詰連珠の世界、楽しんでください！

第1問【黒先】



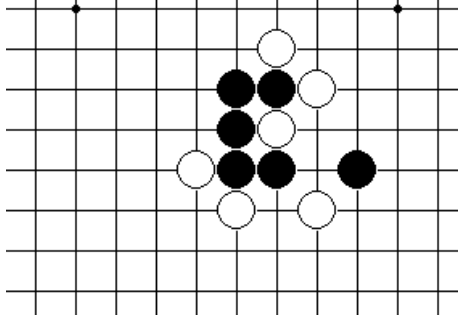
四と三が交わる所を探します

第2問【黒先】



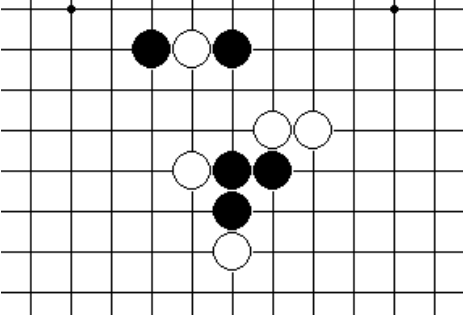
トビ四にする場所も探します

第3問【黒先】



石数増えましたが同じです

第4問【黒先】



トビ四とトビ三が交わる点です

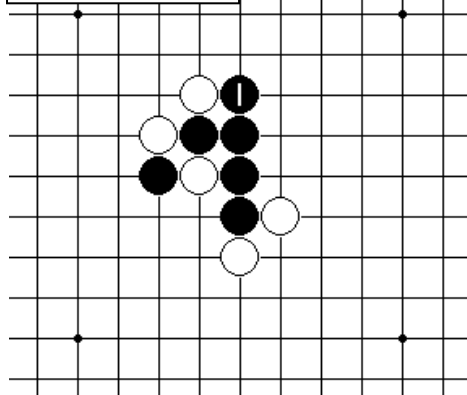
詰連珠を解くコツ

- ・四ができる場所に注目する
- ・ノリ手（止めた手が四や三になる手）に注意する
- ・トビ四、トビ三、斜めの筋は見づらいので特に意識して見る
- ・わかったと思っても、頭の中で再度確認する

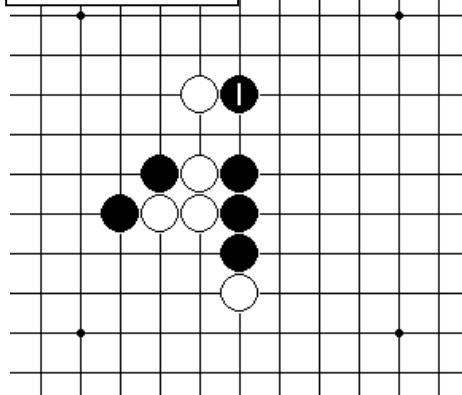
この入門編は1手で勝てる問題ばかりなので見た瞬間わかる場合も多いですが、即断してしまうとノリ手を見落としやすいです。斜めのノリ手などは非常に見えにくくなっていますので、要注意です。間違えた問題を再度やってみるのも上達のコツです。

● 解答

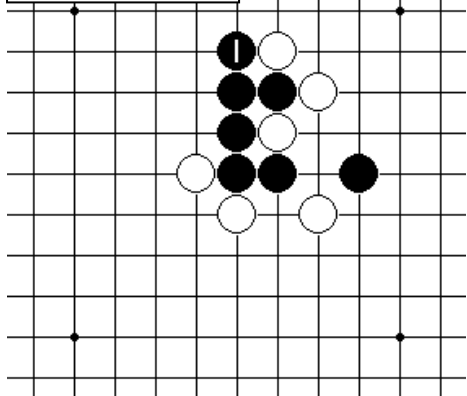
第1問【黒先】



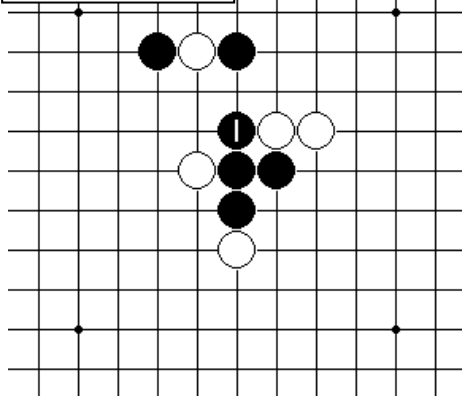
第2問【黒先】



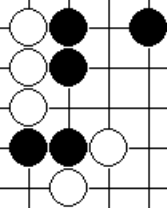
第3問【黒先】



第4問【黒先】

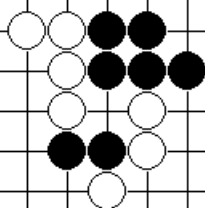


第5問【黒先】



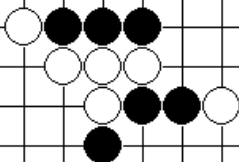
四と三が交わる所を探します

第6問【黒先】



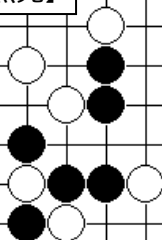
白のノ手に注意してください

第7問【黒先】



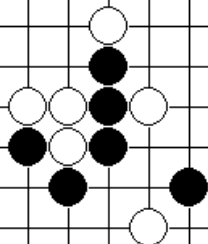
白の三は無視して四三を打ちます

第8問【黒先】



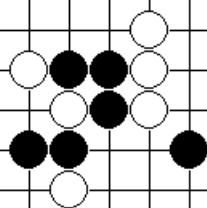
どちらかの四三はノ手になります

第9問【黒先】



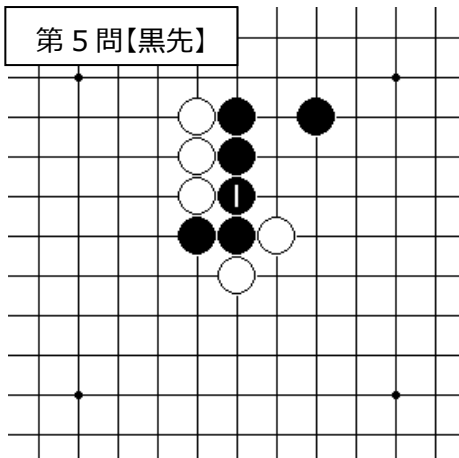
どちらかの四三はノ手になります

第10問【黒先】

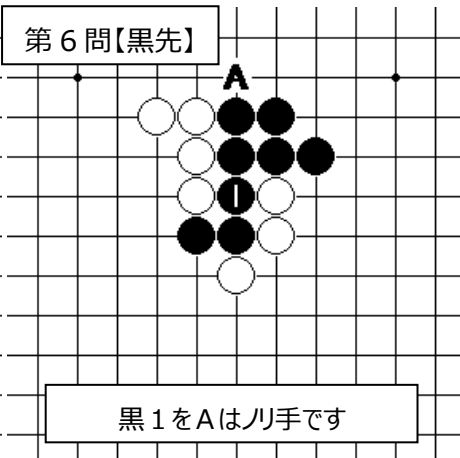


どちらかの四三はノ手になります

第 5 問【黒先】

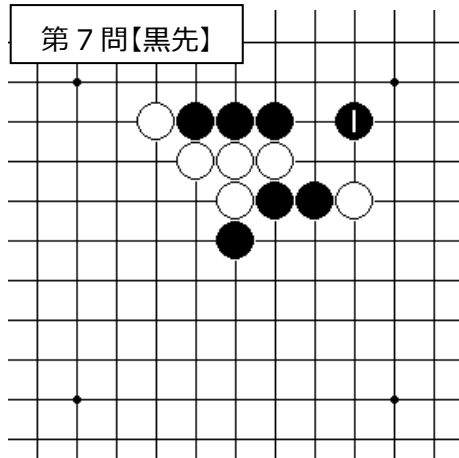


第 6 問【黒先】

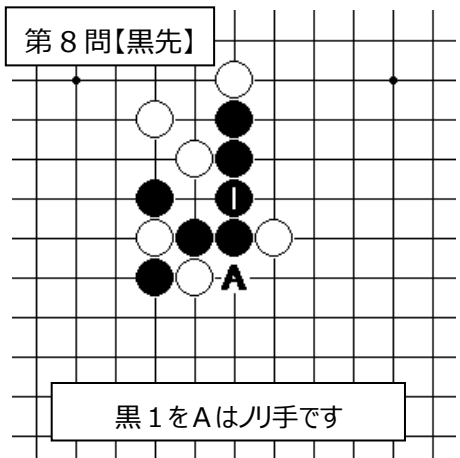


黒 1 を A はノ手です

第 7 問【黒先】

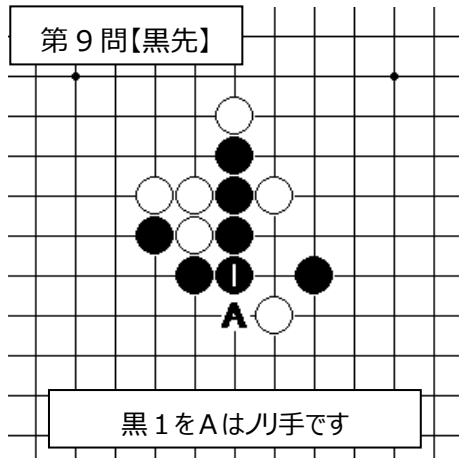


第 8 問【黒先】



黒 1 を A はノ手です

第 9 問【黒先】



黒 1 を A はノ手です

第 10 問【黒先】

